

リハビリテーション科

【概要】

平成 28 年度の診療報酬改定で、「質の高いリハビリテーションの評価等、患者の早期の機能回復の推進」が明記され、回復期リハビリテーション病棟のアウトカム評価において一定の水準に達しない保険医療機関については、疾患別リハビリテーション料の評価が見直され、結果が求められることとなった。

また、岐阜県地域医療構想において当院が、「岐阜圏域や県全体の高度医療の中心的役割を担うもの」と明記されており、我々の果たす役割が重要であることを念頭に日々の業務に努めてきた。

入院早期より多職種と協力し、リハビリテーション医療の提供や患者の適切な病棟への移床を検討するために、カンファレンスを開催しニーズにあった情報の提供を行い、早期離床、早期退院を目標としている。

また、継続したリハビリテーション医療の提供が必要な患者には、急性期治療終了後、地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟においてリハビリテーションが受けられるよう主治医・看護師・MSW や PFM などと連携を図っている。

生活期において、介護老人保健施設では入所者への機能・能力訓練の実施および在宅要介護者へ通所リハビリテーションの提供、訪問看護ステーションでは、理学療法士および作業療法士、言語聴覚士による訪問リハビリテーションを行っている。

今後も質の高いリハビリテーション医療を提供できるよう、更に育成や人員の充実を図っていききたい。

【人員体制】 平成 29 年 3 月 31 日現在

職 種	数	内 訳
医 師	2	リハビリテーション科部長 回復期リハビリテーション病棟部長
理学療法士	63	総合病院 専任 47 名 介護老人保健施設（通所リハ含む）専任 9 名 訪問看護 専任 7 名
作業療法士	19	総合病院 専任 13 名 総合病院・介護老人保健施設兼任 1 名 介護老人保健施設（通所リハ含む）専任 4 名 訪問看護 専任 1 名
言語聴覚士	14	総合病院 専任 12 名 介護老人保健施設 専任 1 名 訪問看護 専任 1 名
事務職員	2	総合病院 専任 2 名

【平成 29 年度の取り組みおよび実績】

要介護被保険者等に対するリハビリテーションについて、機能予後の見通しの説明、目標設定の支援等を強化するための活動・参加の支援に努めた。

回復期リハビリテーション病棟のアウトカム評価は、リハビリテーションの提供・効果実績を把握し、一定以上の質を提供することができた。

平成 29 年 11 月からは、地域包括ケア病棟担当チームを設置し、より良いリハビリテーション医療の提供体制を整えた。

がん患者リハビリテーションを適切に提供するため、多職種とともにがん患者リハビリテーション研修修了者の増加を図った。

脳神経外科・整形外科・循環器内科等との合同カンファレンスに週 1 回定期的に参加し、情報共有を高めている。各セラピストをチーム編成することで、より効率的で効果的なりハビリテーション医療の提供を図っている。

継続して、地域包括ケア会議の出席や介護予防事業への取り組みにも参加し、地域包括ケアシステムの構築を図っている。

理学療法部門：理学療法士を急性期チームと回復期チーム、地域包括ケアチームに機能分担している。急性期チームは脳血管疾患・運動器・内部障害（心大血管・呼吸・がん）チームに分け、急性期病棟入院中の患者に対して、早期離床、早期退院を目標としたリハビリを提供している。がん患者においては、緩和ケアチームに継続参画し、リハビリの提供をしている。障害者病棟に入院中の患者に対しては、家人への指導も含め、機能維持を意識した介入が行えている。

回復期チームは、在宅でより良く生活できるよう日常生活動作の自立性の向上を目標としたリハビリテーションを提供している。

地域包括ケアチームは、急性期病棟からの入棟が多いが、住み慣れた地域・環境でいつまでも楽しく生活ができるよう、リハビリテーションを提供している。

訪問看護ステーションから理学療法士の訪問も継続し、急性期～回復期～在宅へと切れ目のないリハビリテーションを行っている。

糖尿病などの生活習慣病療養指導や特別養護老人ホーム入所者に対する介入に加え、平成28年度より、羽島特別支援学校への出向を継続し、生徒一人一人に合わせた介入・指導を行っている。

作業療法部門：上肢機能訓練や巧緻動作訓練、日常生活動作訓練を中心に、ベッドサイドより早期に訓練を開始し、患者の早期離床、早期退院を目標としたリハビリを提供している。また、訪問看護ステーションから作業療法士の訪問も継続し、在宅リハビリのニーズにも応えている。10月からは、羽島特別支援学校へ出向し、生徒一人一人に合わせた介入・指導を行っている。

言語聴覚療法部門：脳血管疾患に伴う言語障害、摂食嚥下機能障害の患者を対象にベッドサイドより訓練を開始している。また、小児の発達・言語障害の外来訓練を行なっている。訪問看護ステーションから言語聴覚士の訪問も継続し、在宅リハビリのニーズにも応えている。羽島特別支援学校へ出向を継続し、生徒一人一人に合わせた介入・指導を行っている。

【院内活動実績】

生活習慣病療養指導、各種委員会参加、臨床実習指導、母親教室運営協力、回復期リハ病棟連携会議、部門別勉強会、医療安全研修（KYT、RCA）、喀痰吸引研修、新人スタッフ症例発表会等

【院外活動実績】

介護老人福祉施設（特養）への機能訓練指導、羽島特別支援学校の児童・生徒のADLの維持向上や支援等、笠松中学校メディカルセミナー協力、笠松町健康増進プログラム協力、野球肘健診協力、失語症友の会の運営協力、学会発表、研修会参加、地域包括ケア会議参加、笠松町介護予防事業参加

【今後の展望】

平成30年度の診療報酬・介護報酬改定では、更にアウトカムの評価が重視され、病棟機能に合わせた診療報酬が段階的になるため、急性期～生活期の各期において、適切なリハビリテーション医療の提供を行ない、患者や利用者を住み慣れた地域・環境で暮らすことができるよう進めていきたい。

今後も患者や利用者の生活を見据え、急性期から回復期および生活期のリハビリテーションを提供する。また地域包括ケアシステムの構築に寄与し、地域の中核施設として連携施設と更なる連携を強化し、地域で完結するリハビリシステムの確立を継続して行っていきたいと考えている。

〔文責：松波紀行 佐野和幸〕

平成 29 年度 リハビリテーション実施患者数 (延べ人数)

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計		
理学療法	脳血管	28年度	1,631	1,678	1,662	1,797	1,890	1,829	1,948	1,733	1,841	1,917	1,805	1,951	21,682	
		29年度	1,817	1,921	1,759	1,698	1,970	1,846	1,764	1,760	2,014	1,869	1,659	1,677	21,754	
	廃用	28年度	439	623	807	1,027	1,115	916	850	1,034	1,028	826	744	875	10,284	
		29年度	841	1,114	1,294	1,375	1,322	1,246	1,326	1,156	1,041	1,069	982	1,178	13,944	
	運動器	28年度	1,384	1,290	1,483	1,653	1,498	1,235	1,384	1,620	1,653	1,388	1,568	1,800	17,956	
		29年度	1,569	1,619	1,610	1,787	2,001	1,856	1,997	1,798	1,658	1,639	1,735	1,617	20,886	
	呼吸器	28年度	689	767	710	603	807	713	467	405	389	515	620	730	7,415	
		29年度	486	447	453	452	487	572	603	431	545	557	519	459	6,011	
	心大血管	28年度	817	775	720	707	695	484	661	742	714	638	658	669	8,280	
		29年度	707	832	566	385	403	295	401	405	430	508	479	637	6,048	
	がん	28年度	200	174	193	159	162	252	266	200	228	194	174	220	2,422	
		29年度	182	288	321	244	259	200	140	175	179	104	128	156	2,376	
	作業療法	脳血管	28年度	1,010	1,052	1,041	1,087	1,165	1,033	1,082	1,011	1,079	989	888	1,052	12,489
			29年度	1,017	1,166	1,134	1,032	1,017	941	866	824	1,012	1,004	836	837	11,686
廃用		28年度	62	31	67	60	54	65	56	49	34	23	20	12	533	
		29年度	34	22	49	41	22	19	0	9	15	47	5	0	263	
運動器		28年度	365	408	413	394	377	261	222	279	377	224	289	336	3,945	
		29年度	280	284	314	436	404	362	554	451	411	395	431	420	4,742	
呼吸器		28年度	13	0	0	0	0	0	0	0	15	6	7	2	43	
		29年度	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
心大血管		28年度	0	11	7	0	0	0	0	1	6	0	0	0	25	
		29年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
がん		28年度	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
		29年度	0	14	13	8	4	0	1	0	0	0	0	0	40	
言語聴覚療法		脳血管	28年度	717	893	977	1,117	1,168	933	962	913	993	1,001	922	1,024	11,620
			29年度	889	984	993	931	1,051	1,019	1,066	965	1,097	932	766	806	11,499
	廃用	28年度	15	105	229	287	261	195	212	215	255	154	165	206	2,299	
		29年度	187	279	278	352	315	333	285	185	153	216	187	230	3,000	
	がん	28年度	0	6	7	12	9	9	7	0	3	4	7	0	64	
		29年度	0	0	0	4	2	9	3	2	0	0	3	2	25	
	摂食機能訓練	28年度	342	310	342	230	235	107	143	130	112	140	180	180	2,451	
		29年度	130	139	152	91	123	183	131	156	162	212	218	245	1,942	

平成 29 年度 実習生受け入れ実績

		人数
理学療法部門	鈴鹿医療科学大学	1名
	中部学院大学	1名
	名古屋学院大学	1名
	名古屋大学	1名
	愛知医療学院短期大学	1名
	平成医療短期大学	2名
	あいち福祉医療専門学校	1名
	専門学校星城大学リハビリテーション学院	1名
	東海医療科学専門学校	1名
	トライデント スポーツ医療科学専門学校	1名
	名古屋医専	1名
	理学・作業名古屋専門学校	1名
作業療法部門	愛知医療学院短期大学	1名
	岐阜保健短期大学	2名
	平成医療短期大学	1名
	国際医学技術専門学校	2名
	サンブレッジ国際医療福祉専門学校	1名
言語聴覚療法部門	聖隷クリストファー大学	1名
	東海学院大学	2名
	日本聴能言語福祉学院	2名

急性期リハビリテーション転帰

単位 / %

	自宅	施設	転院	転棟	終了	死亡
25年度	58.7	15.3	9.6	1.8	1.7	12.9
26年度	66.1	12.1	6.9	0.3	2.4	12.2
27年度	65.0	10.5	5.4	0.8	4.5	13.8
28年度	64.0	12.3	4.1	0.9	4.7	14.0
29年度	67.2	13.0	5.2	0.1	3.8	10.7